

手足口病



手足口病はウイルスの感染によって起きる感染症です。毎年5月頃から始まり、5歳以下の乳幼児に流行します。感染者の咳やくしゃみから感染したり、便に出たウイルスで感染したりすることもあります。原因のウイルスの種類が複数ある為、何度もかかってしまう可能性があるため注意しましょう。

☆潜伏期間：3～5日

☆感染経路：飛沫感染、糞便感染 接触感染

◎手のひら、足の裏、指の間、体に痛みを伴う水疱や赤みをもった丘疹ができます。

◎口の中に水疱ができると、破れて口内炎になり食欲が落ちます。

◎発疹はかさぶたを残さずに、3～7日で消失します。

<気を付けること!!>



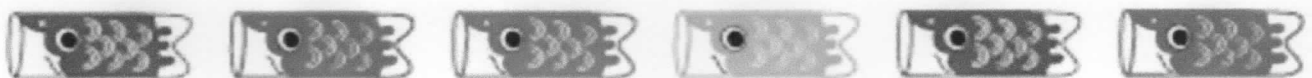
☆刺激が少なく口当たりの良い食べ物を与え、食後はぬるめのお茶などを飲ませて、口の中に食べ物が残らないようにし、しっかり水分補給をしましょう。

☆排泄物からウイルスが排出されるため、おむつ交換の時は注意しましょう。
発疹が消えた後も、3～4週間ほどは便にウイルスが排出されます。



☆手洗い、うがいをしっかりしましょう。箸・タオルの共用は避けましょう

☆水分補給が出来ない、ぐったりしている時は、早急に医療機関を受診しましょう。



病後児保育室では

手足口病の場合、解熱しており食事や水分が取れていることをお預かり基準としています。